

# 新任職員研修 ～専門職(介護)

2017. 3/16～18

えびな南高齢者施設にて

自然な起き上がり  
～ 自分の身体で確認しました



4月から仕事に就く職員と、  
昨年度、本研修に参加できなかった  
職員 計12名が参加しました。

講師：介護福祉士4名

「持ち上げ介護をしない」

中心会の介護の基本です。

そのために、自然な身体の動き  
を自覚することから始めます。

(ボディメカニクス)



一例です・・・  
立つためにはどういう姿勢が良い？  
～ 自分の身体で確認しました



車椅子の操作は

技術が必要です。

安全な操作、乗っている人が  
怖くないような操作とは？

芝生、砂利道は難しい・・・



危険行為を体験！

食べるというメカニズムを学びました。  
もし、上を向いた状態で口に食べ物を入れたら・・・？

「食べる」ための自然な姿勢は  
どういう姿勢が良いのでしょうか

中心会が目指している

「専門人としての介護職員」

とはどういう介護像なのか。

『成長のステージ』

『OJTチェックリスト』

も使いました。



～研修の最後に～

「私はこんな介護職員になります」

「こんな介護をします」と個々に宣言を  
してカードに書きました。全員で一つに  
まとめ、ポスター作成をしました。



「成長の木」って  
書きましようよ



どういう絵にしますか？

どんなレイアウトに  
する??



**ポスターは、研修会場になったえびな南高齢者施設の廊下に一年間掲示します！**

参加者の皆さん、研修お疲れ様でした。

研修では、中心会の目指す介護像、「人として」「組織人として」「介護専門人として」をじっくり学びあいました。

三日間の研修は、ほんの一部しか触れることができていませんが、中心会が目指す介護像はご理解いただけたと思います。専門人として、学ばなければならないことが沢山ありますから、これから仕事に就いても、身体に気を付けて、専門人として学ぶ機会を作り共にスキルアップしていきましょう。

講師 一同